

主担当機関 慶應義塾大学

連携機関 近畿大学 奈良大学 別府大学
大阪市立大学

理化学研究所と連携した XooNIps新版(XooNIps NG)開発 への参画

本プロジェクトでは、現在のXooNIpsの基本コンセプトを継承しているXooNIps新版の開発に参画しています。

- ・最新のXOOPSの機能を有効活用
- ・より柔軟なカスタマイズ性
- ・より簡潔なシステム構成
- ・今後の開発コストの削減
- ・実現できていなかった機能を設計段階から視野に
といった特徴を持たせ、設計段階から機関リポジトリユー
ザの意見を踏まえて開発が
スムーズに行われることを
目的として活動しています。

次世代XooNIps開発

マニュアル・
ツールの
整備も進めま
した

目的

- ・ 現行のXooNIpsは当初の目的を達成し、さらに、我々のプラットフォームだけでなく、慶應義塾大学図書館をはじめ機関リポジトリに採用されるようになった。
- ・ しかしながら、利用機関の増加と共に、様々なニーズや課題が示されるようになってきた。
- ・ 改良に改良を重ねてきた結果
 - ・ 重複コードの増大
 - ・ 改修コストの増大
 - ・ 基本設計に対する問題
- ・ これらの問題を解決すべくXooNIpsをさらに発展させ利便性、運用性の向上を図る必要が出てきた。

優れた操作性や機能を継承しつつ、新たに次世代システムの設計・開発を行う。

平成24年度中
に公開の予定

XooNIps研究会を中心とした ワークショップなどの開催などの コミュニティ活動

2011/12/09 慶應義塾大学にて
「XooNIpsのこれまでとまとめ、新XooNIpsの紹介」

2011/12/21-22 大阪市立大学にて
「機関リポジトリ発、電子リソースの今と未来ー講義+グループワークの2日間ー」

2012/01/20 青森県立保健大学にて
「リポジトリ、はじめの一步ー国立情報学研究所学術機関
リポジトリ構築連携支援事業ー」

機関リポジトリ構築
済み機関・未構築
機関共に多数参加

開発中の
XooNIps新版
に触れること
ができました

大変盛況
でした

